平成２９年１月１７日

調布市議会議員　各位

都市整備部街づくり事業課

飛田給１号踏切道の改善にかかる検討案について

飛田給駅西側の踏切（飛田給１号踏切）については，これまで度々地元より拡幅の要望が市長宛に提出されており，平成２７年第４回市議会定例会において，「飛田給駅西側踏切の拡幅を求める陳情」が採択されました。これに加え味の素スタジアムが，ラグビーワールドカップ 2019 及び 2020 東京オリンピック・パラリンピックの会場に決定したことから，来場者数に見合うバリアフリー経路の確保が必要な状況です。

これらを踏まえ，これまで京王電鉄（株）と飛田給１号踏切道の改善にかかる協議を進めて参りましたが，この度，下記のとおり検討案がとりまとまりましたのでお知らせいたします。

記

１　検討案の概要

当該踏切に隣接する線路分岐(ポイント）を，西側に約６ｍ移設することにより，踏切幅員を現況約６ｍから，約９ｍに拡幅する。

事業費は約５億円で，工期は約２年。

２　今後の調整事項

市負担額の圧縮のための，補助金の確保に向けて，東京都等との協議を継続する。

３　添付資料

・【別紙】飛田給１号踏切の改善について（検討案）

連絡先
都市整備部街づくり事業課　河野
内線７４０１

別紙

◆飛田給１号踏切道の改善について（検討案）

平成29年1月
街づくり事業課

【現状と課題】

路線名：市道西46号線
延長　：12.7m
幅員　：6m
踏切名：飛田給１号踏切
交通量：車両　約2,100台
　　歩行者　約1,800人
駅乗降客数：約25,000人

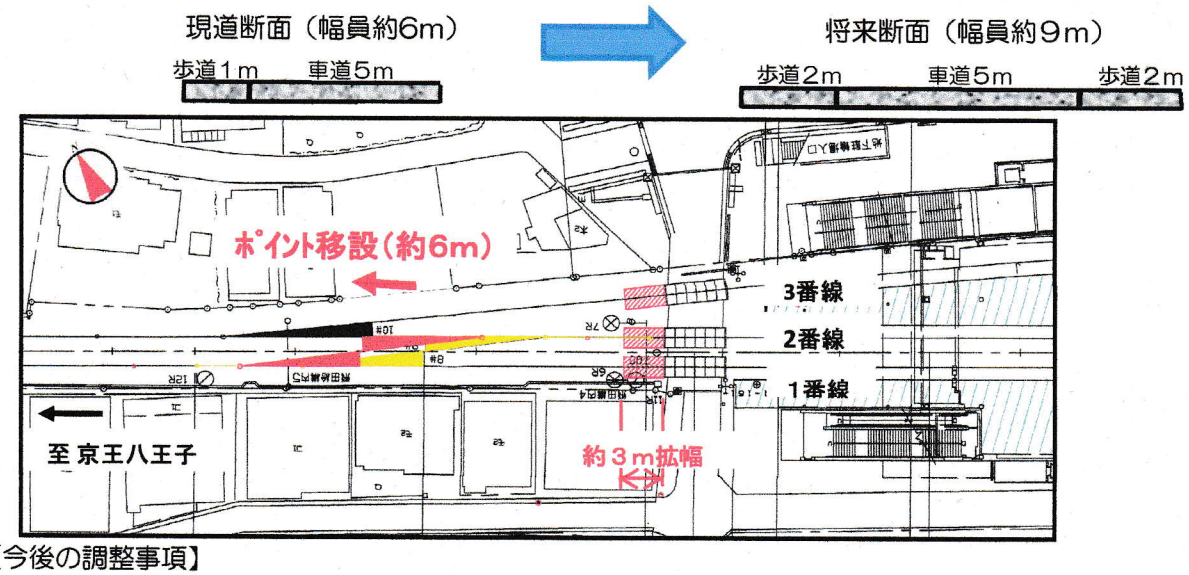
○歩行者は，橋上駅舎の公共通路（調布8・6・1号線，幅員9m）を通行する計画であり，平成13年3月に竣工
○地元住民は，踏切の遮断時間があまり顕著でないことから，踏切を利用
○駅周辺の地下駐輪場の出入口は，駅北側にあるため，南側の市民は踏切等を横断する必要がある
○調布3・4・33号線の整備により，南北方向の動線確保に向けた機運が高まる
○平成27年第４回定例会で，地元より陳情が出され，採択される
　（市民の利用実態や東京五輪等の世界的な大会開催を踏まえた対応が必要）
○ラグビーW杯，東京五輪開催に向け，来場者に見合うバリアフリー経路の確保が不可欠

【検討概要】

○基本的な考え方
- 歩行者や自転車の安全な通行空間の確保（通学路の安全対策）
- ラグビーW杯までに整備完了を目指すため，用地取得をしない方法により検討
- 地域の通行動線を確保するため，一方通行化等ではなく，歩行空間を充実する方向で検討
- 地域に負荷が極力及ばないように配慮

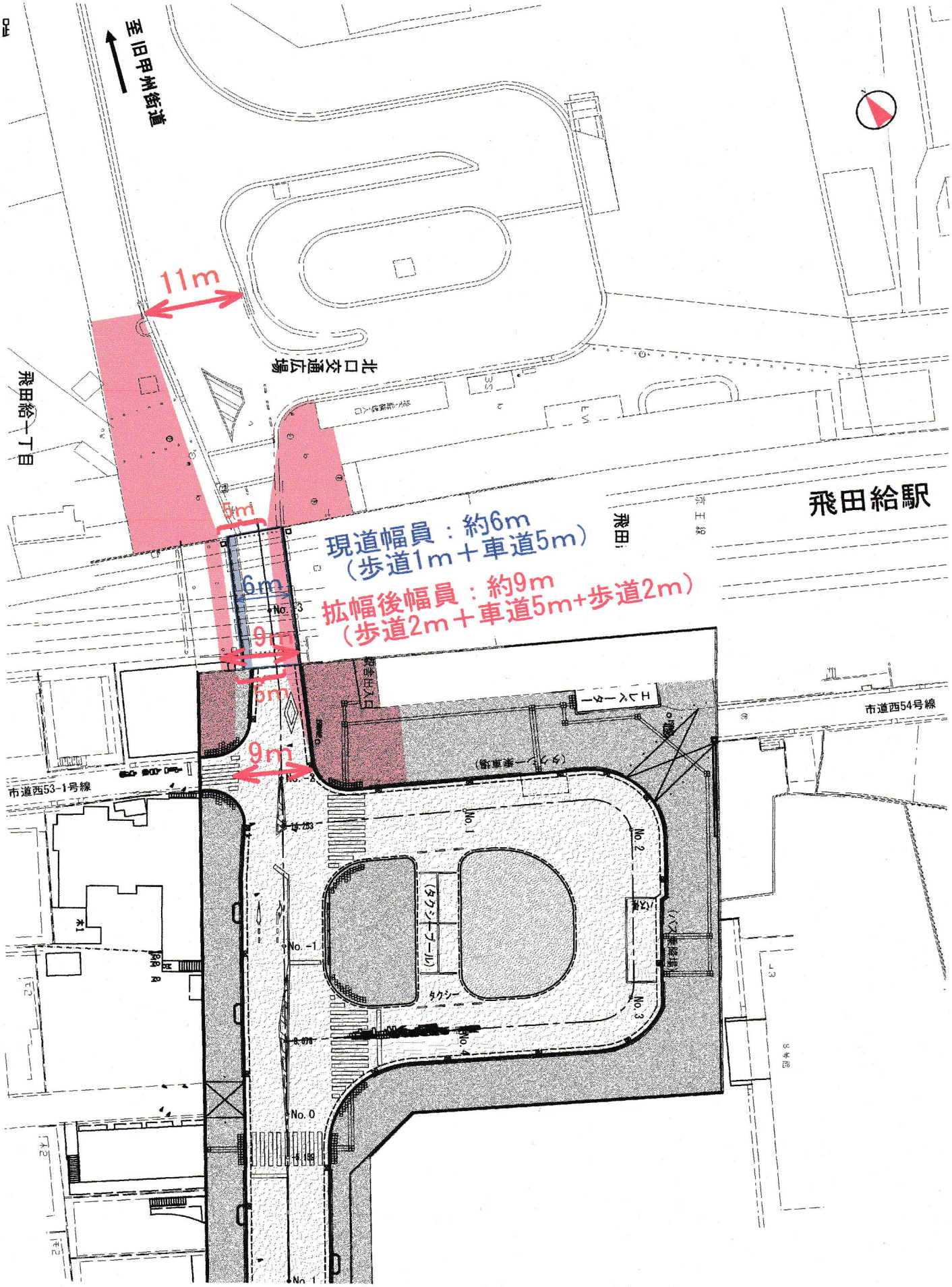
○計画案
- 踏切のポイントを西側に6mずらすことで，総幅員約９mとする案。
- 事業費は約５億円
- 概略スケジュール

　平成29年度：設計，ケーブル移設工事
　平成30年度：分岐器，踏切保安設備及び架線移設工事，信号システム改修工事，踏切拡幅工事



【今後の調整事項】

○財源の確保（市負担額の圧縮）
○通学路との調整


至旧甲州街道
11m
北口交通広場
飛田給一丁目
飛田給駅
5m
6m
9m
5m
9m
現道幅員：約6m
（歩道1m＋車道5m）
拡幅後幅員：約9m
（歩道2m＋車道5m+歩道2m）
市道西53-1号線
市道西54号線
エレベーター
タクシー
No. 0
No. 1
No. 2
No. 3
No. -1
No. -2
No. -3
至品川通り
：踏切拡幅後の 歩道位置
：現況踏切
：現況踏切箇所の 歩道位置